

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業		<b>担当部局</b>	廃棄物・リサイクル対策部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成15年度～		<b>担当課室</b>	産業廃棄物課・廃棄物対策課		産業廃棄物課長 廣木雅史		
<b>会計区分</b>	特別会計(エネルギー需給勘定)		<b>施策名</b>	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律(平成19年3月31日法律第23号)第85条第3項第1号ハ		<b>関係する計画、通知等</b>	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業)交付要綱 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業)実施要綱				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	廃棄物の焼却熱や、廃棄物及び廃棄物由来バイオマスのエネルギーを利用する施設の整備、電動式塵芥収集車の導入等を促進することによって、廃棄物分野におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量を削減する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	高効率熱回収や燃料製造などの、廃棄物の焼却熱や廃棄物及び廃棄物由来バイオマスのエネルギーを利用する施設の整備に対して、施設整備費の1/3または1/2を上限として増嵩費用(追加的に生じる費用)を補助する。また、電動式塵芥収集車(バッテリー装置を電動化した塵芥車。電動化と併せて車体をハイブリッド化又はCNG化する場合を含む。)を導入する際に通常車両との差額の1/2を補助する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		修正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	100	111	535	206		
		計	2,217	2,278	1,835	995	789	
	執行額	1635	1451	765				
	執行率(%)	74	64	42				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業はモデル事業を対象としており、他の廃棄物処理事業者への同様の事業に対する広がりやPR効果が期待できることから、成果指標を定量的に捕捉することができないため。		成果実績					
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	補助事業実施箇所数		活動実績(当初見込み)	施設	7	6	4	—
<b>単位当たりコスト</b>	87,264(円/t-CO2)		算出根拠	・廃棄物処理施設 過去の実績より、1年あたりの事業全体のCO2削減単価として82,524(円/t-CO2/年)を設定 $740,000,000(円) \div 82,524(円/t-CO2/年) = 8,967(t-CO2/年)$ ・低炭素自動車の場合 $(7台 \times 3.93t-CO2/台年) + (7台 \times 6.55t-CO2/台年) = 73.3(t-CO2/年)$ $788,895,000(円/年) \div (8,967(t-CO2/年) + 73.3(t-CO2/年)) = 87,264(円/t-CO2)$				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制対策等補助金	789	789					
	計	789	789					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度における行政刷新会議の指摘を受け、平成23年度当初予算額を半減させた。また、平成23年度より廃棄物熱回収施設の対象を高効率な事業に限定するとともに、電動式廃棄物塵芥収集車に限定した。</p> <p>また、今年度より高効率熱回収施設または燃料製造施設の整備事業を採択する際には、技術審査委員会を設置し、外部有識者の意見を聞いた上で補助事業者を決定することとし、補助目的に合致したモデル事業を採択できる制度を創設した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	事業仕分けの結果を踏まえ、引き続き効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度の行政刷新会議からの指摘事項については、既に措置済みである。今後とも効率的な執行に努めて参りたい。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け第1弾「1-53 民間企業等に対する導入等補助事業等(エネ特)のうち、(4) 廃棄物処理施設における温暖化対策事業(エネ特)」WGの評価結果: 予算要求の縮減(30%~40%を縮減)</p> <p>事業仕分け第3弾「A-12 エネルギー対策特別会計 エネルギー需給勘定導入等補助事業②のうち、(3) 廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業」WGの評価結果: 予算要求を半減を目途に圧縮。廃棄物熱回収については、対象を高効率のものに限定したうえでさらにモデル地域を絞り込む。塵芥車等については、例えば電動バッカー車に限定する。</p>			

※平成22年度実績を記入

環境省  
765百万円

- ① 補助事業事務全般
- ② 補助事業が滞りなく確実かつ効果的に実施されるよう、事業者を管理・監督



A.ユナイテッド計画(株) 他3者  
765百万円

- ① 高効率な廃棄物エネルギー利用施設の整備(増設・改築または改造)または電動式塵芥収集車の導入
- ② 報告書等の作成

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(ユナイテッド計画(株))			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	施設整備工事ほか	578			
計		578	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	ユナイテッド計画(株)	廃棄物熱供給設備の整備事業	578	—	—
2	石崎産業(株)	廃棄物発電設備の整備事業	105	—	—
3	(株)環境ソリューション	廃棄物熱輸送設備の整備事業	49	—	—
4	鈴健興業(株)	バイオマス燃料製造設備の整備事業	33	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					